令和８年第９回奥出雲町教育委員会定例会会議録

日　　時　　令和８年９月１６日（水）
開　　会　　１５時００分
閉　　会　　１６時００分
場　　所　　横田庁舎　３階　大会議室
出席委員　　福田教育長職務代理者　松﨑教育委員　小林教育委員
　　加藤教育委員

委員会事務局　高尾教育魅力課長、石原文化スポーツ推進課長、中林課長代理、堀江派遣指導主事

教育長

○教育長諸般の報告

○次期学習指導要領について

2030 年度（令和 12 年度）に小学校、2031 年度（令和 13 年度）に中学校で全面実施が予定されおり、8 月 31 日に文部科学省の中央教育審議会教育課程企画特別部会（中教審特別部会）から「時期学習指導要領等に向けた審議まとめ（素案）」が示され、学習への AI 活用について初めて明記されました。

次期学習指導要領では、AI やデータサイエンスを活用するためのスキルを高校卒業までに習得する方針であると載っていましたが、現状を踏まえると難しい点があるのではないかと考えています。また、大幅な改訂により、教職員だけではなく、児童・生徒にも負担がかかるのではないかと考えています。

○特筆すべき変更点

・小中学校から「情報」を教科に組み込む

小学校では、「総合的な学習の時間」に「情報の領域」を新たに追加、中学校では「技術・家庭科」を「情報・技術科」、「家庭科」に再編する方針が示されています。

・小中学校の裁量コマ数を柔軟に編成「調整授業時間」新設

個々の学校の判断により、各教科の標準授業時数を調整し、柔軟に編成できる制度の新設が示されています。

・「総合的な学習の時間」を「総合的な探求の時間」へ

小・中学校の「総合的な学習の時間」を高等学校の「総合的な探求の時間」に名称を改める方針が示されています。名称を統一することにより、小・中・高を通じて学びを段階的に積み上げていく狙いがあるのではないかと個人的に受け止めています。

○9/1　少年の主張仁多郡審査会

仁多中学校の 3 年生の生徒が最優秀賞を受賞し、安来市で開催される県大会に出場することが決定しています。

	○9/7　共同学校事務室　県協議 令和 10 年の共同学校事務室の設置に向けて県の協議会に参加し、質疑応答や意見交換を行いました。 ○9/14　社会人権教育・啓発意見交換会 県の人権同和教育課と教育事務所の職員が奥出雲町役場に来庁され、意見交換を行いました。県に専任の指導員が配置されているため、その指導員を十分に活用してほしいとのお話をいただきました。 ○9/29　絵はがきコンテスト審査会（大東税務署） 毎年開催されている小学生の税に関する絵はがきコンテストの審査会に税務課課長補佐と参加する予定にしています。 ○9/30　ホシザキ企業版ふるさと納税贈呈式 ホシザキ株式会社から企業版ふるさと納税として 1,000 万円の寄附がありました。ホシザキ株式会社からは、教育に活用してほしいと毎年ご寄附をいただいております。 また、地元の誘致企業である株式会社ガットからも毎年 300 万円のご寄付をいただいており、この度、紺綬褒章が授与されることになりました。これについては、近々伝達式を行う予定になっています。 参加者４名 ※開会宣言　教育委員の出席者数を確認し、会議の成立を宣言 ※会議録署名委員　加藤委員 ○議事なし ○報告事項 ○令和 7 年度教育委員会事務点検・評価報告書について ※資料により説明 今回の定例会では、報告事項として特記事項のみ説明させていただきます。委員の皆さまには、この報告書案をお持ち帰りいただき、来月の定例会において議事としてあげさせていただきますので、その際にご意見等をいただければと考えております。 ○3-1-2 学校給食　A 評価 物価高騰対策を引き続き行い、児童 1 食 266 円、生徒 1 食 315 円を維持し、保護者負担軽減に寄与していたと評価しています。
事務局	

	○3-1-3 仁多小学校建設工事　A評価 ○3-1-3 学校再編統合推進委員会　A評価 昨年度、仁多小学校校舎が完成し、今年度から開校しました。スケジュール通り遂行されたため、A評価をつけています。 ○3-2-1 たたら体験学習　A評価 スケジュール通りに作業を進め、児童に奥出雲町独自の体験学習を提供したと評価しています。
事務局	○令和8年度島根県市町村教育委員会連合会研修会について 10月7日に出雲市で開催される研修会の出欠を確認させていただきます。福田委員と加藤委員のみご出席で間違いはないでしょうか。 （肯定の声あり）
事務局	当日は、堀江派遣指導主事が送迎いたします。お手数をおかけしますが、11時半までに仁多庁舎にお集まりください。
事務局	○令和8年度の全国学力・学習状況調査 ※資料により説明 このまとめは、10月の奥出雲町広報誌に掲載を予定しています。 ○小学校・国語 ・良好な点 ・無回答率が高かった自由記述の回答率が高くなった ・提示された条件に沿った文書を書くことができるようになった ・課題点 ・資料の引用 ・比喩や反復などの表現の理解 ・配当漢字の正しい利用 ・目的に応じた情報を収集し、収集した情報の相互関係をとらえ、それを活用して自身の考えを表現する ○小学校・算数 ・良好な点 ・小数点や帯グラフなど各内容の基礎的な事柄を理解している ・課題点 ・基礎的な理解はできているが、問題として出題されると解答できない →知識を結び付けて問題解決を図るための経験等が少ないのではないか

	○中学校・国語 ・良好な点 ・叙述をもとに文書をとらえることができる国語で大切な力が身についている ・課題点 ・他者と自身の意見を調整し、最適な解決策や相互理解を得る力 ・文書の作成において、段落相互の関係が明確にできていない ・必要な情報を要約し、解釈する力 ・配当漢字の正しい利用 ○中学校・数学 ・良好な点 ・同類項の意味やグラフの読み取りなど各内容の基礎的な事柄を理解している ・課題点 ・提示された条件や導き出した答えを用いて証明や説明をする力 ○中学校・英語 ・良好な点 ・一問一答形式のように解答すべき内容が明確な場合、必要な情報を聞き取ることができる ・課題点 ・会話全体を理解し、概要や要点をまとめる力 ・単語数の下限が設定されている問題に対し、その条件を満たさない解答が多い
教育長	全体を通して質疑等はございますか。
小林委員	新聞記事に小学校で授業と授業の間の休み時間を短縮する流れが進んでいると載っていましたが、奥出雲町ではどのようなになっていますか。
事務局	現在、横田小学校が5分、仁多小学校が10分です。 仁多小学校でも開校当初は、5分でしたが、バスダイヤの関係で10分に戻したと認識しています。
事務局	業間休みと呼ばれる通常の休み時間より長い休み時間以外を10分から5分に減らす学校が多いと聞いています。教職員の勤務時間が短くなるというメリットはありますが、移動教室に間に合わないなどのデメリットもあります。そのため、各学校の実情に応じた判断が必要になると思います。
小林委員	休み時間を短縮することで教職員の時間的な負担がどの程度軽減されるのでしょうか。

福田委員	実態にあわせた変更でなければ負担軽減は難しいと思います。5 分では授業開始に間に合わないことが多いうえ、教職員だけではなく、児童にも次の授業の準備の負担が増えると思います。そのため、校長、教頭を中心に実態にあった休み時間を設定することが大切だと思います。
教育長	県の研究校では、成果があったという報告がありましたが、福田委員がおっしゃる通り、実態にあった休み時間の設定が必要だと思います。今後、奥出雲町でも模索・検討を続けていこうと考えています。 ほかに質問等がございますか。
松﨑委員	8 月から公営塾が始まりましたが、参加している生徒はどのくらいいますか。
事務局	仁多中学校では、20 名以上の生徒が参加している一方、横田中学校では 7，8 名程度の参加にとどまっています。原因としては、仁多中学校の会場が敷地内のランチルームなのに対し、横田中学校の会場は中学校から離れた農村婦人の家のため、参加が難しいのではないかと考えています。建物が独立している仁多中学校のランチルームと異なり、横田中学校のランチルームは、校舎内にあるため、防犯的な面で活用しにくい状況です。
教育長	横田中学校には独立している建物がないのですか。
事務局	技術室がありますが、暖房がないことに加え、トイレがありませんので会場として利用するのは難しいです。
小林委員	セミナーハウスは利用できませんか。
事務局	島根 IT デザインカレッジの生徒が利用しているため、できません。
小林委員	島根デザイン専門学校の校舎は空いていませんか。
事務局	空いていると聞いていますが、施設管理者が町ではないため、利用が難しいと思います。 現在、会場として横田公園の管理棟の利用も想定していますが、道中の街頭が少ないため、安全管理面に不安が残っている状況です。
事務局	○その他連絡事項 本日 6 時から国民スポーツ大会インターハイ優勝報告会が行われます。従来は、関係者のみの参加でしたが、町民の皆さまから参加者を増やしてほしいとの要望があったため、横田コミュニティセンターを会場にしています。

＜　次回定例会は１０月２２日（木）午後　１５時００分から（予定）　＞

会　議　録　署　名

署名委員　加藤智恵美

教育長　川本健二